

# 福島県双葉地方水道企業団工業用水道事業の紹介

## ○事業の趣旨

福島県が河川法に基づき二級河川木戸川上流の木戸ダム建設に共同事業者として参画し、日量32,300m<sup>3</sup>の水源を確保するとともに、将来はこれを水源とする工業用水道事業を実施して、広野・楢葉南・富岡・大熊東・大熊西・双葉西の各工業団地、東京電力(株)福島第二原子力発電所、東京電力(株)広野火力発電所、楢葉町大字山田岡字美シ森及び楢葉町大字山田岡字下岩沢へ日量30,000m<sup>3</sup>を供給する目的で実施されたものである。

## ○事業の経緯

双葉地区は、東京電力(株)福島第一・第二原子力発電所及び東京電力(株)広野火力発電所を擁する、日本有数の電源地帯である。しかし、建設が完了し、その雇用吸収力は最盛期に比べ大幅に落ち込み、ポスト原発が大きな課題となっている。このようなことから、各町とも企業誘致による地域振興を図って積極的な工業開発に取り組んでいるが、現在は広野工業団地、楢葉南工業団地、富岡工業団地、大熊東工業団地に企業が進出し操業中であり、東京電力(株)広野火力発電所においては5号機増設に伴い平成15年3月末日より一部暫定給水を開始し、平成20年4月1日には本格給水開始となり、新たに東京電力(株)福島第二原子力発電所へ給水を開始している。常磐自動車道は富岡町まで開通し、大熊町から双葉町までの路線については本格的な道路建設が始まっており、高速道路の延伸による企業の進出が予想され、工業用水の確保が強く望まれているところである。このため、福島県が木戸川総合開発事業として採択を受けた木戸ダムに参画して工業用水の水源(32,300m<sup>3</sup>/日)を確保するとともに工業用水道事業(給水量30,000m<sup>3</sup>/日)を実施しようとするものである。

## ○ユーザーの概要

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
電気供給	2	10,500
電気	1	180
化学	2	930

## ○事業の特徴

### <双葉地方の紹介>

双葉地方は太平洋に面し、気候は比較的寒暖の差が少なく、冬時期でも積雪はほとんどなく、交通網は常磐自動車道を筆頭に関東と東北を結ぶ国道6号線、福島県中心部へ続く国道288号線、そして主要地方道であるいわき浪江線が南北に縦断し、自然環境や交通の便に恵まれた地域です。

## ○双葉地方水道企業団のホームページアドレス

<http://www.f-mizu.jp/>

